松若 天守閣の麓で舌鼓

「みやぎ会津会」が花見

宮城県在住の会津地方出身者らで組織する「みやぎ会津会」は二十一日、会津若松市の鶴ケ城で花見を楽しんだ。

例年は仙台市で花見を行っているが、戊辰戦争百五十周年にちなみ、今年は会場を鶴ケ城に移した。約四十五人が貸し切りバスで訪れた。

天守閣の麓にシートを張り、桜の花びらが舞う中で弁当を広げた。食事後は自由行動で、市街地を散策しながら、お土産などを買い求めた。

須佐尚康会長（金山町出身）は「鶴ケ城を眺めながら、百五十年前の出来事に思いを寄せた。お土産の購入などで、少しだが古里に貢献できた」と話していた。

鶴ケ城で花見する、みやぎ会津会の会員ら